MAL-449B　AQ26　2013年2月1日発行
＊MAL449B＊

LIXIL TOSTEM

シグマカーポート 棚　取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●棚以外の組立て･取付けについては、各カーポート本体に同梱の説明書を併せてご覧ください。
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠注 意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害･軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠注　意

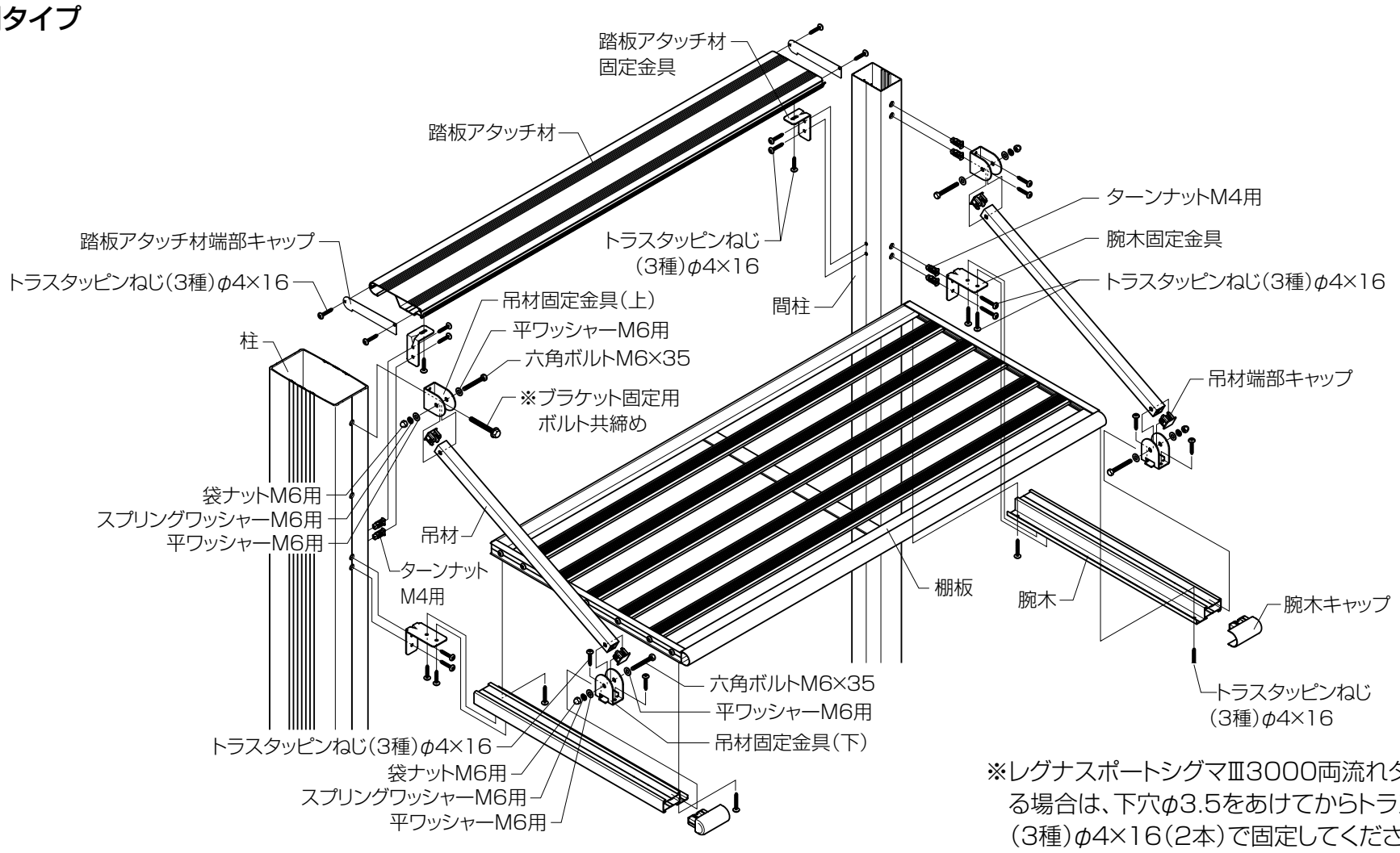
※製品の破損および落下のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
●取付けについて
・みだりに改造･変更をしないでください。
●部材の固定について
・組立てねじ･ボルトは必ず指定のものを使用してください。又、使用中ゆるまないように締付けてください。
・タッピンねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。
●基礎について
・基礎は当社指定寸法以上にしてください。
・海砂は水洗いしたものを使用してください。アルミが腐食するおそれがあります。
・コンクリート（又はモルタル）に急結材は使用しないでください。
・施工前に調査を行い、地下埋設物（給排水管など）に影響をおよぼさないようにしてください。
・寒冷地で凍上のおそれがある地域に取付ける場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
・柱には水抜きができるように柱基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
・養生期間は十分（4日～1週間以上）にとり、その間は重たいものをのせたり、振動を与えたりしないよう指示してください。
※製品腐食のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
●絶縁処理
・アルミ形材が亜鉛･ステンレス以外の金属と接触するときは、絶縁処理をしてください。

■取付け上のお願い

●取付けは専門業者が行なってください。
●当社指定の付属品以外は取付けないでください。

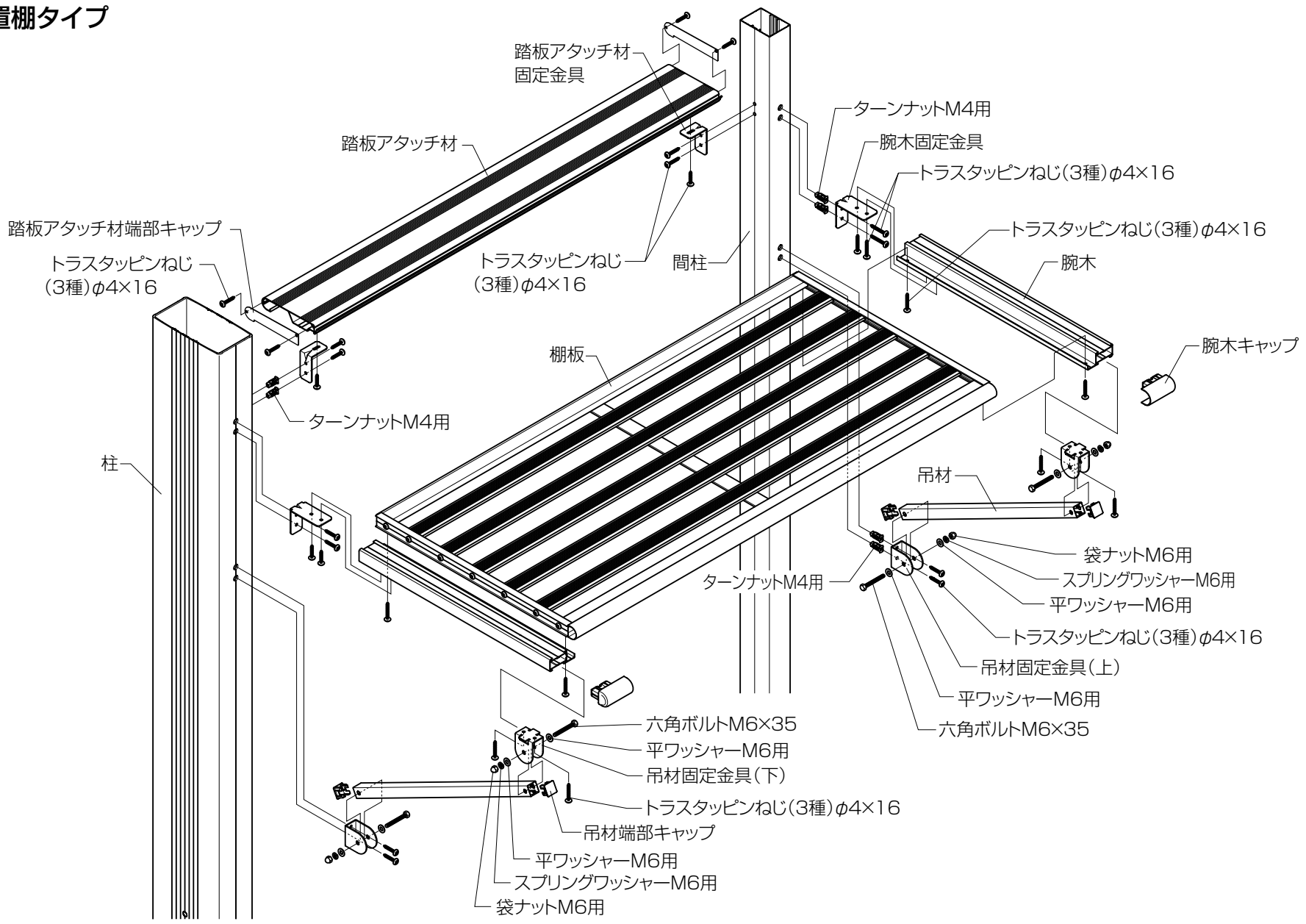
■構造説明図

●吊棚タイプ



※レグナスポートシグマⅢ3000両流れタイプに取付ける場合は、下穴φ3.5をあけてからトラスタッピンねじ（3種）φ4×16（2本）で固定してください。

●置棚タイプ

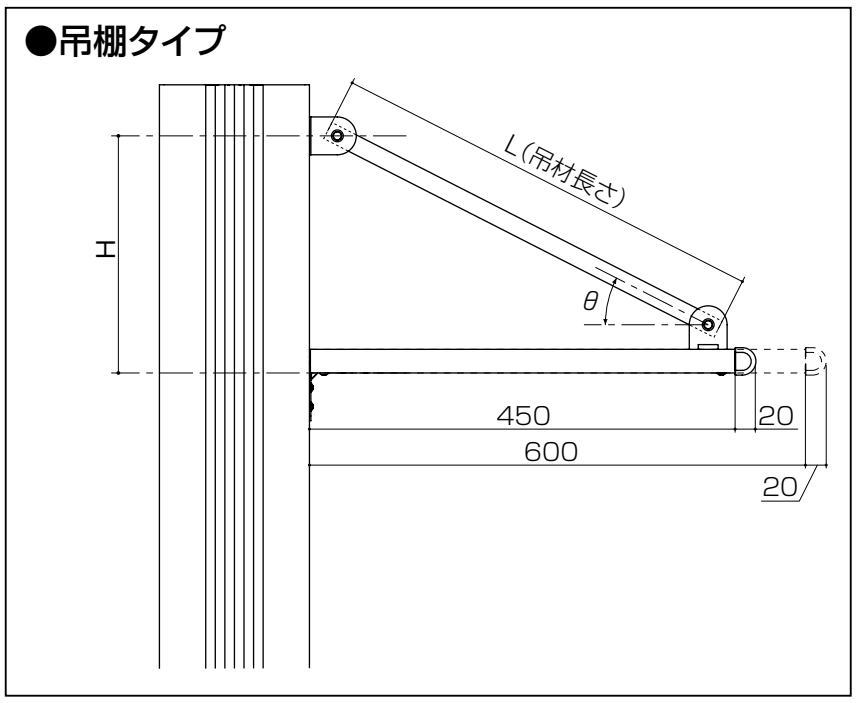


■取付け順序

1 基本寸法

■取付け詳細

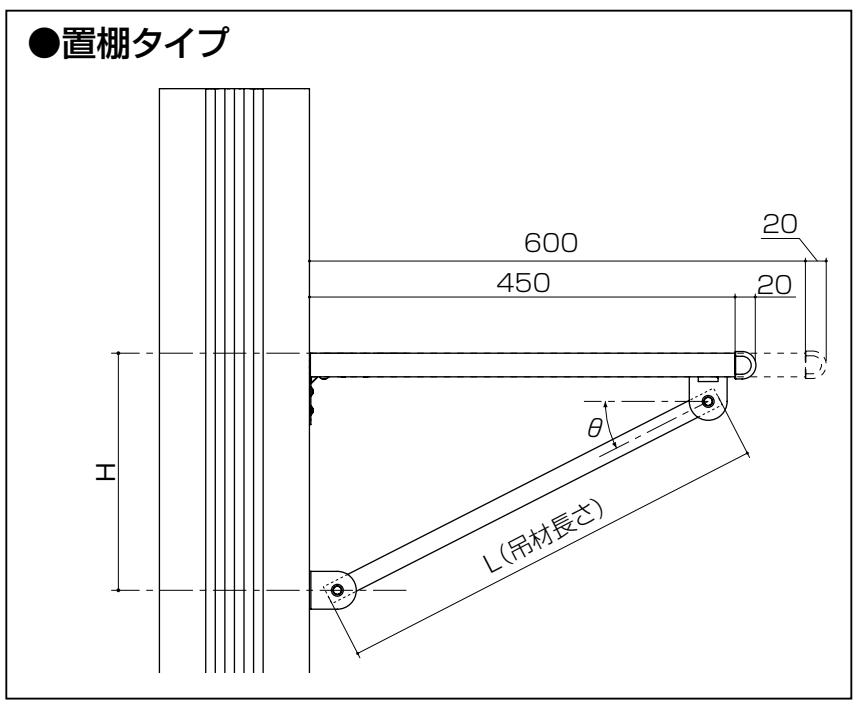
1 基本寸法



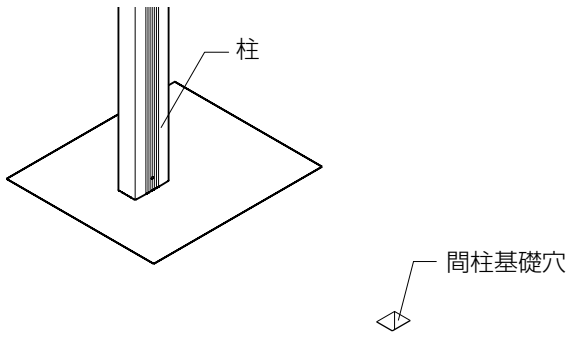
●吊材長さ

H	L(吊材)	θ(参考)
300	475	33
320	486	35
340	498	37
360	510	39
380	523	41
400	536	43
420	550	44
440	564	46
460	579	47
470	586	48

※ブラケット納まり部には、ねじ止めできません。
※出幅450、600の吊材長さは共通です。



2 基礎寸法

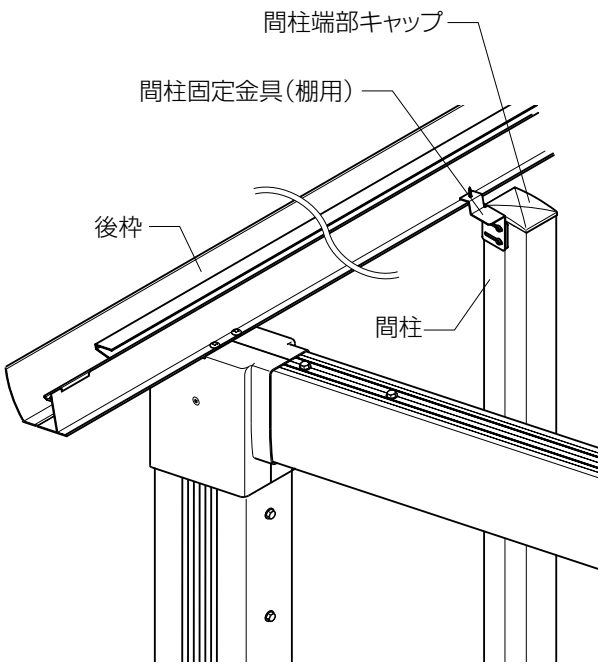


⚠ 注　意

- ●地下埋設物（給水管など）に影響をおよぼさないようにしてください。
- ●コンクリート（又はモルタル）に急結材は使用しないでください。
- ●海砂はアルミを腐食させるおそれがありますので水洗いしたものをご使用ください。

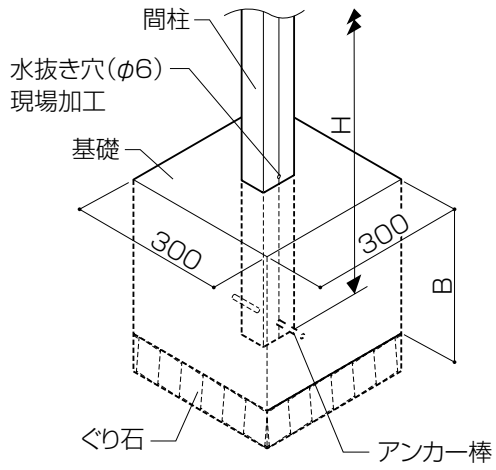
3 吊材の加工

4 間柱の取付け



2 基礎寸法

●間柱の埋込み位置を出し、基礎を施工してください。
基礎位置は右図を参考に決めてください。

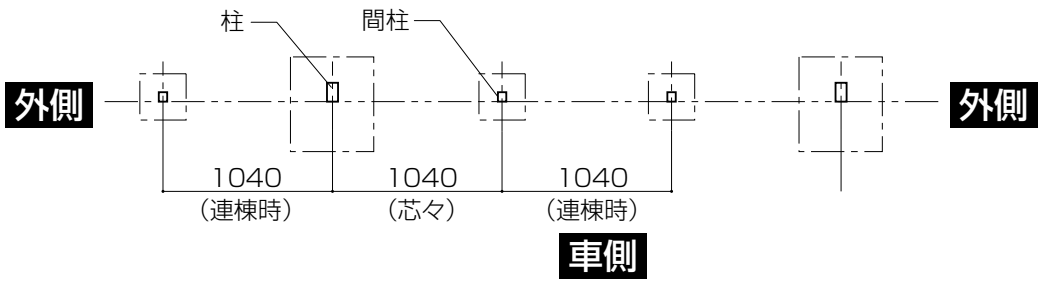


※連棟時には柱芯々で1040mm離した所にもう一つ基礎を施工してください

※57サイズ以外は柱から外側に取付けできません。
（50サイズに取付ける場合は柱移動をしてください。）

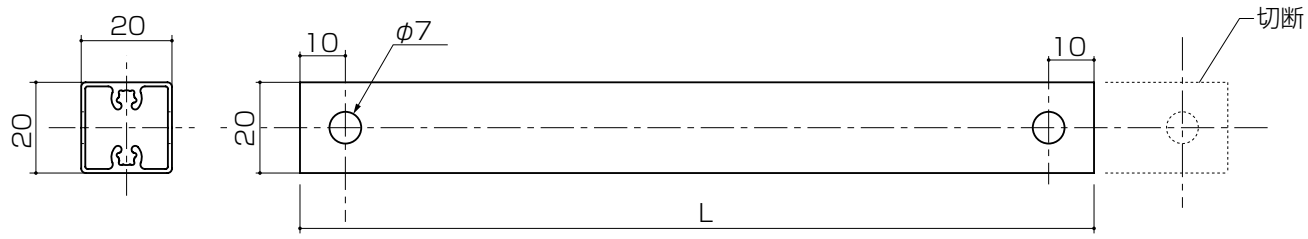
●基礎深さ一覧表

機　種	柱 サイズ	間柱 H	基礎深さ B
カーブポートシグマⅢ レークポートシグマⅢ サーフポートⅢ	H18	2198	300
	H23	2698	300
カーブポートシグマⅢワイド	H18	2198	320
	H23	2698	320
テールポートシグマⅢ テールポートシグマⅢ1500	H18	1745	300
	H23	2245	300
テールポートシグマⅢワイド	H18	1745	315
	H23	2245	315
リベルポートシグマⅢ リベルポートシグマⅢ1500 レグナスポートシグマⅢ3000 （片側支持）	H18	2198	270
	H23	2698	270
レグナスポートシグマⅢ	H18	2198	284
	H23	2698	284
レグナスポートシグマⅢ3000 （両側支持）	H18	2198	187
	H23	2698	187



3 吊材の加工

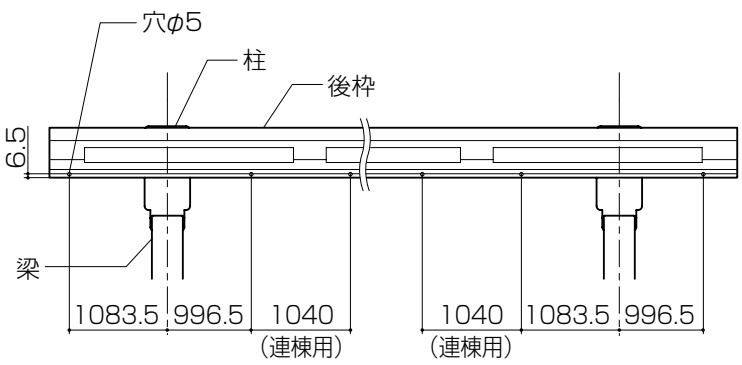
●P.2「1基本寸法」の表を参照し、吊材を加工してください。



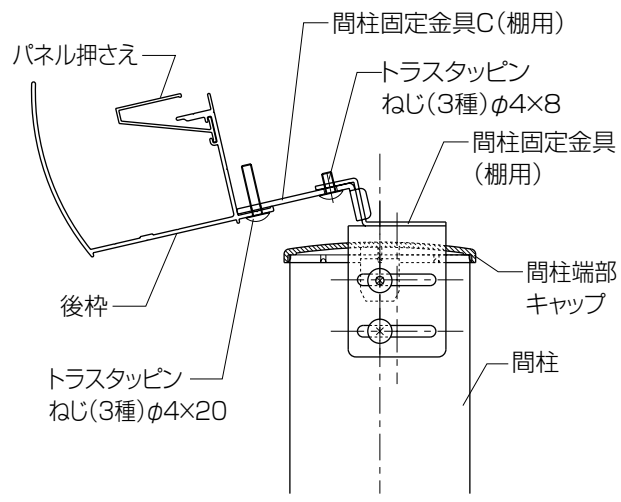
4 間柱の取付け

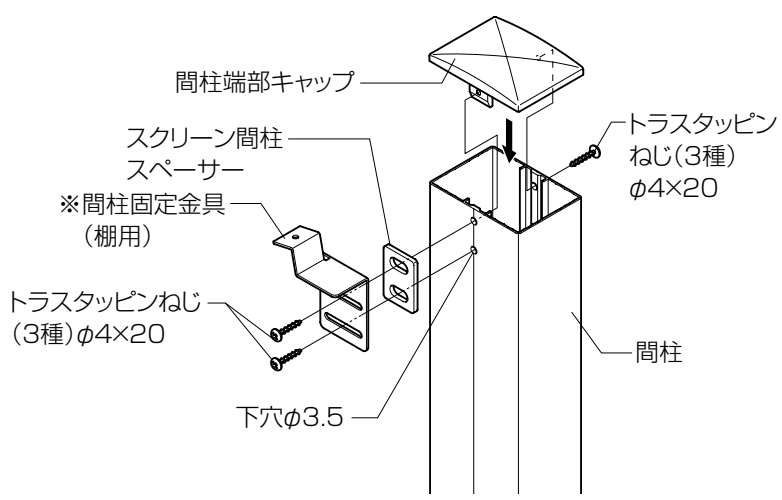
【カーブポートシグマⅢ・レークポートシグマⅢの場合】

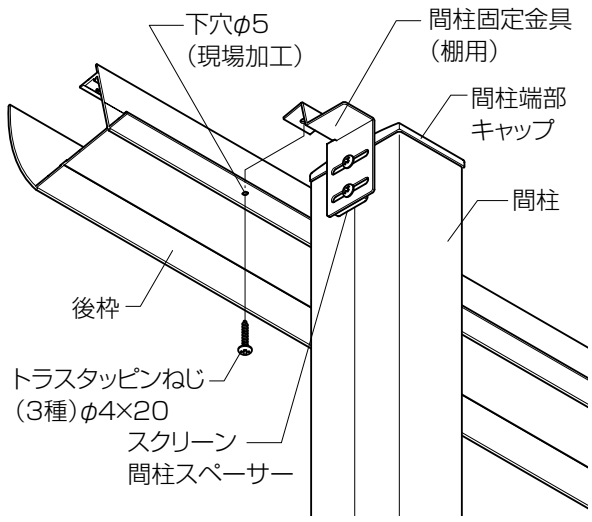
①下図を参照し、後枠にφ5の穴をあけてください。
※連棟時およびカーポート本体の柱を使用しない場合は、穴ピッチ1040で後枠に穴をあけてください。
②間柱に間柱端部キャップを取付け、間柱と間柱固定金具（棚用）の間にスクリーン間柱スペーサーをはさみ、ねじ止めしてください。
③間柱固定金具（棚用）を後枠にねじ止めしてください。

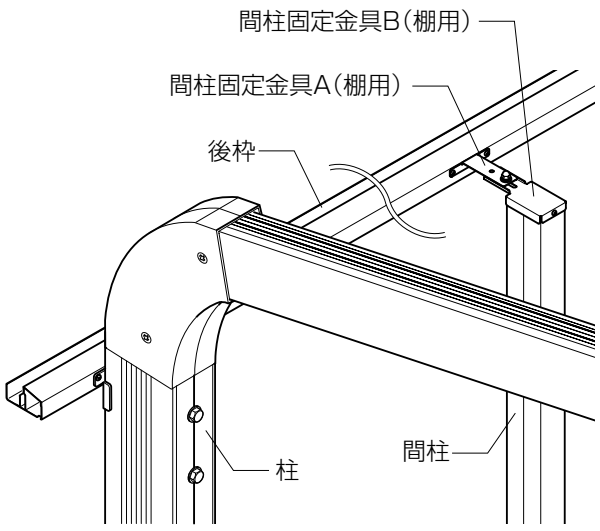


※レグナスポートシグマⅢ、リベルポートシグマⅢに取付ける場合は、間柱固定金具C（棚用）を併用してください。





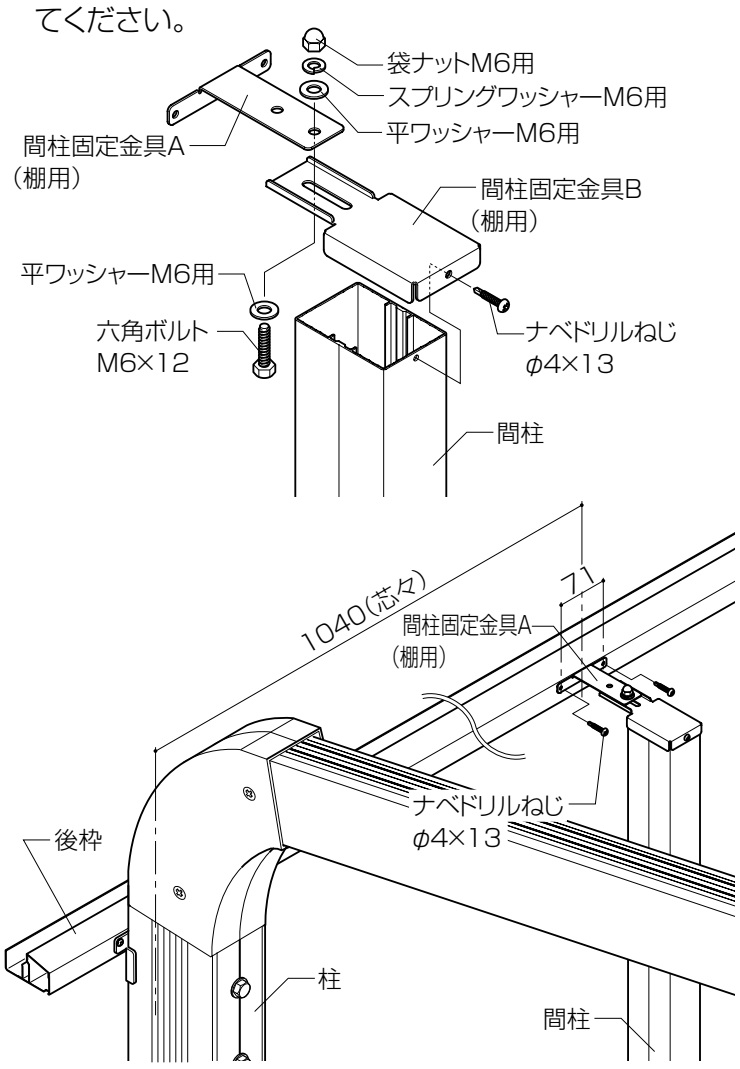


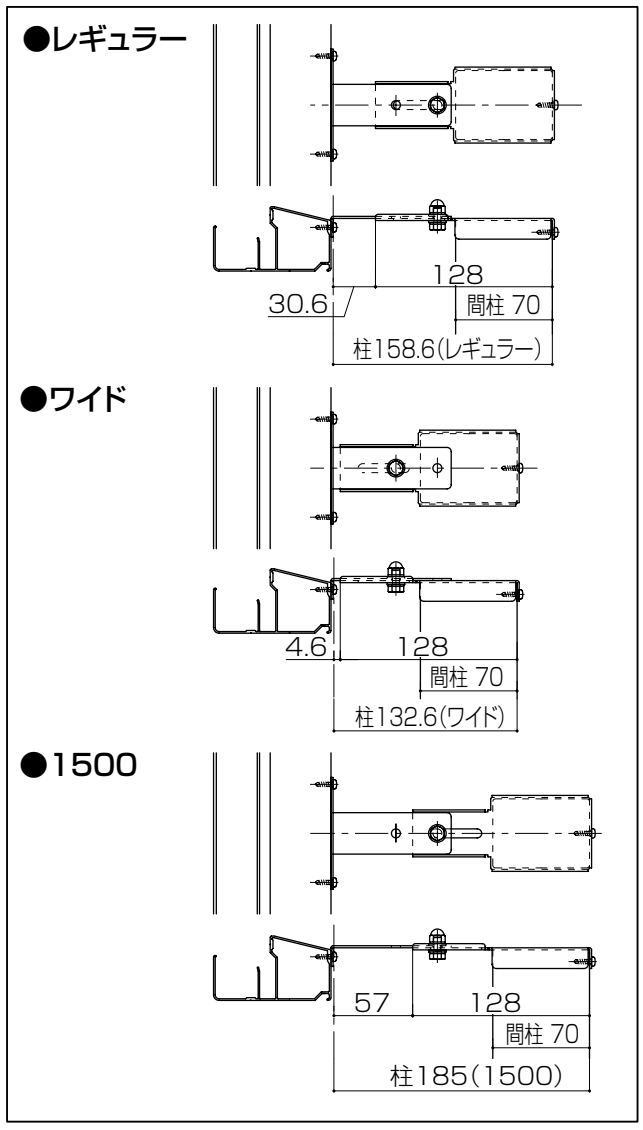


【テールポートシグマⅢ・テールポートシグマⅢ1500の場合】

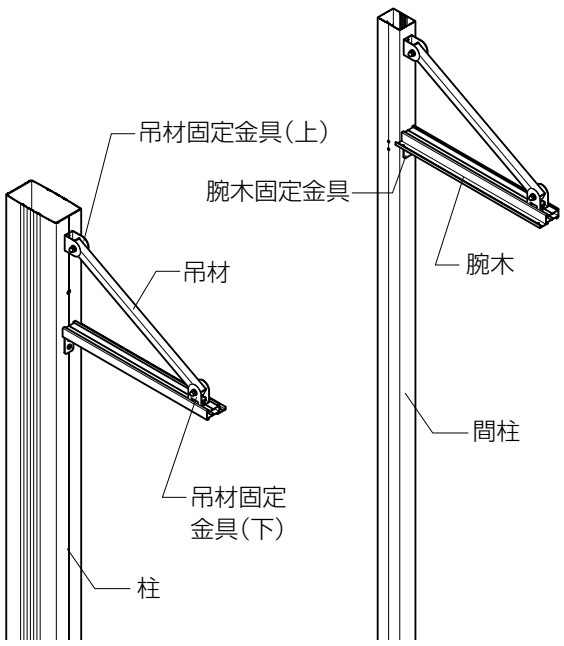
①間柱に間柱固定金具B（棚用）をねじ止めし、間柱固定金具B（棚用）と間柱固定金具A（棚用）を固定してください。

②下図を参照し、後枠に間柱固定金具A（棚用）を取付けてください。





5 腕木・吊材の取付け



5 腕木・吊材の取付け

①P.2「1 基本寸法」および下図を参照し、柱にφ3.5、間柱にφ8の穴加工を施し腕木固定金具・吊材固定金具（上）をねじ止めしてください。

※間柱の穴加工は、カーポート柱の穴位置をG.L.から測って行なってください。

※間柱側の腕木固定金具・吊材固定金具（上）取付けの際は、ターンナットを使用してください。

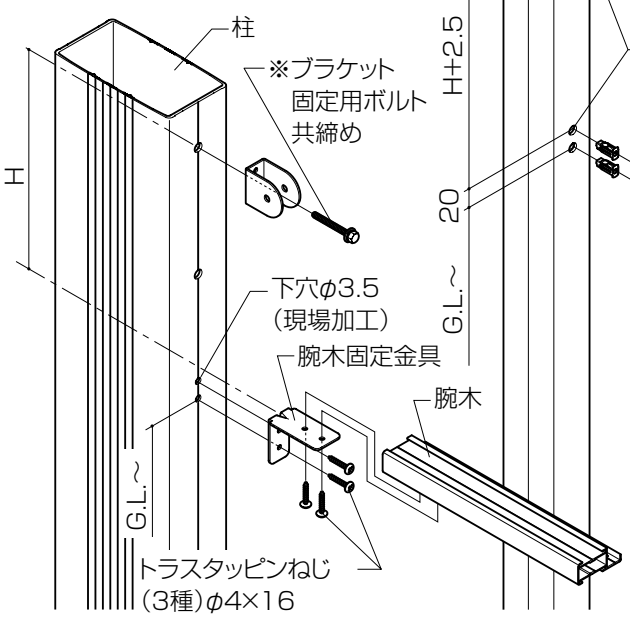
※カーポート本体の柱上部に取付ける際は、ブラケットを固定しているボルトを外し、吊材固定金具（上）を共締めしてください。

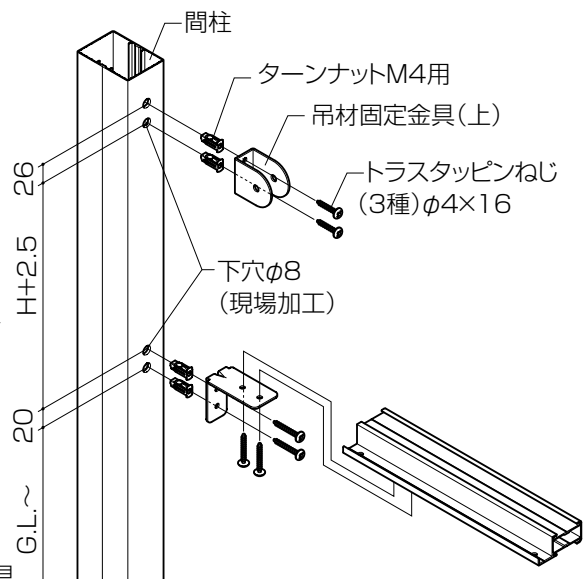
※置棚タイプの場合、棚板（腕木）の位置（任意）を決めてからP.2「1 基本寸法」を参照し、吊材固定金具（上）を取付けてください。

※ブラケット納まり部は、ねじ止めできません。

②腕木固定金具に腕木を差込んでください。

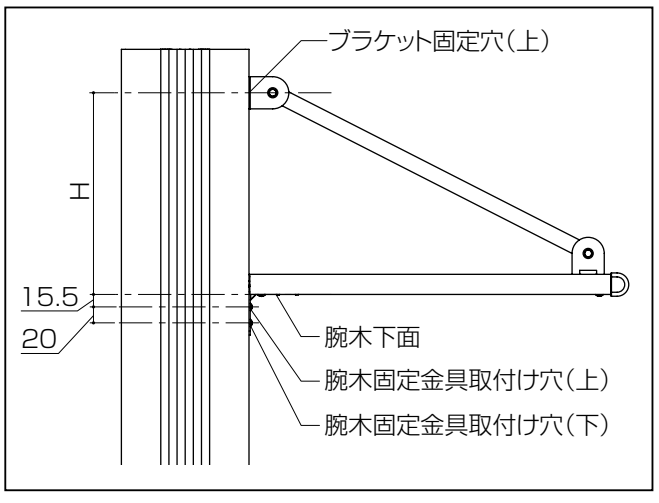
※連棟する際は、中央の柱（間柱）には連棟用腕木を差込んでください。



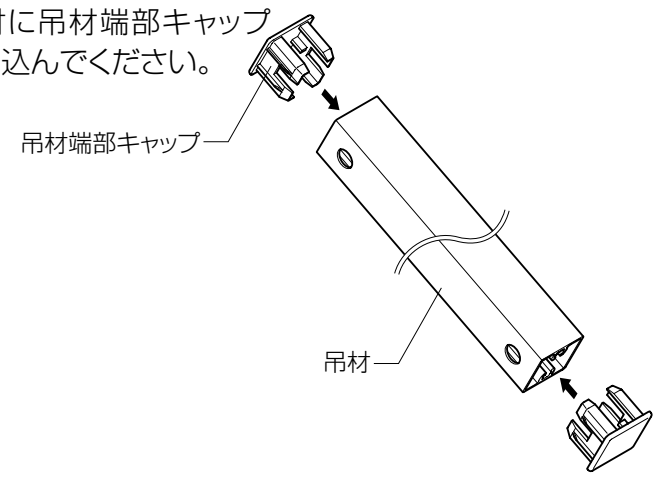


※レグナスポートシグマⅢ3000両流れタイプに取付ける場合は、下穴φ3.5をあけてからトラスタッピンねじ（3種）φ4×16（2本）で固定してください。

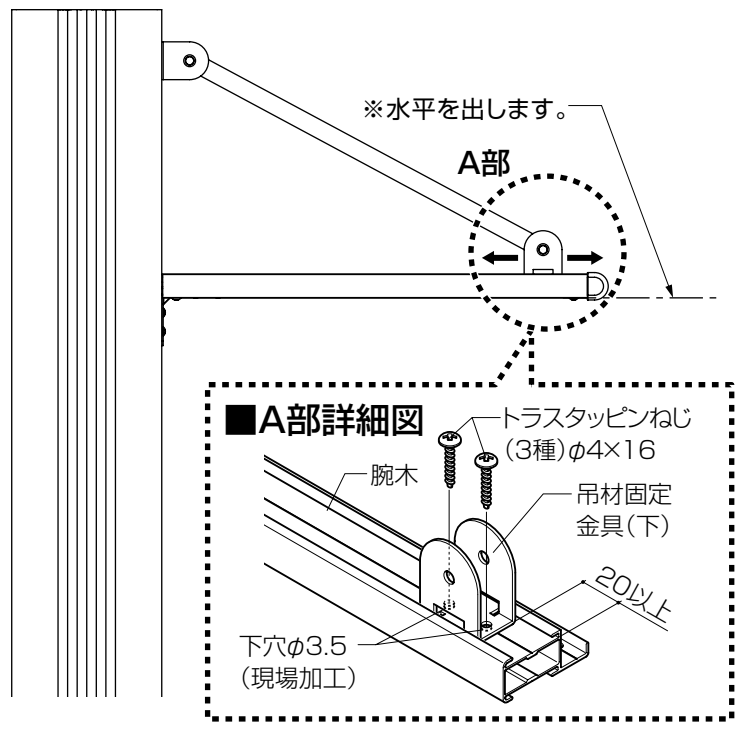
■連棟用腕木

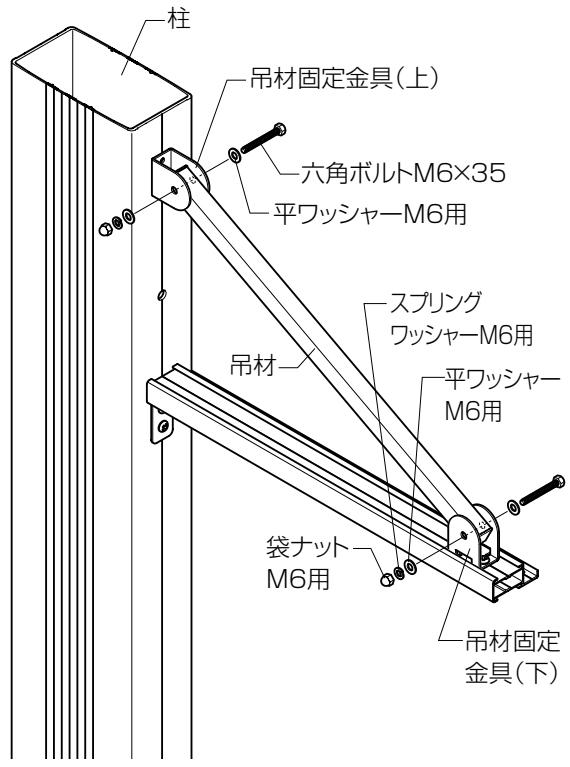


③吊材に吊材端部キャップを差込んでください。

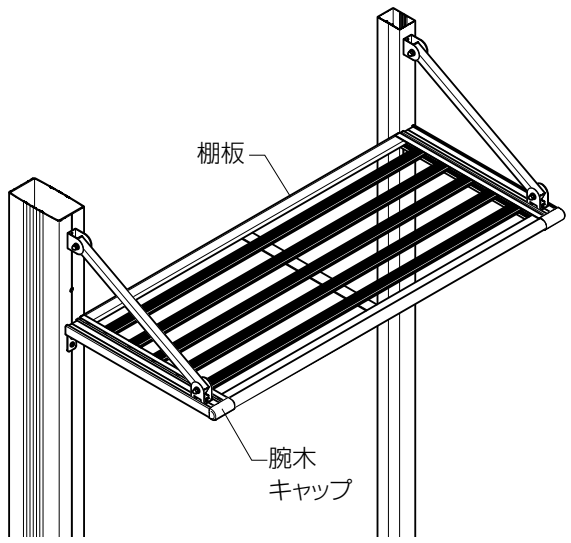


④吊材･吊材固定金具(下)を仮止めし、腕木の水平を調整して吊材固定金具(下)の位置を決めてください。
⑤吊材を外し、腕木にφ3.5の下穴加工を施し(現場加工)吊材固定金具(下)をねじ止めしてください。
⑥吊材を吊材固定金具に固定してください。
※連棟する場合についても同様に取付けてください。



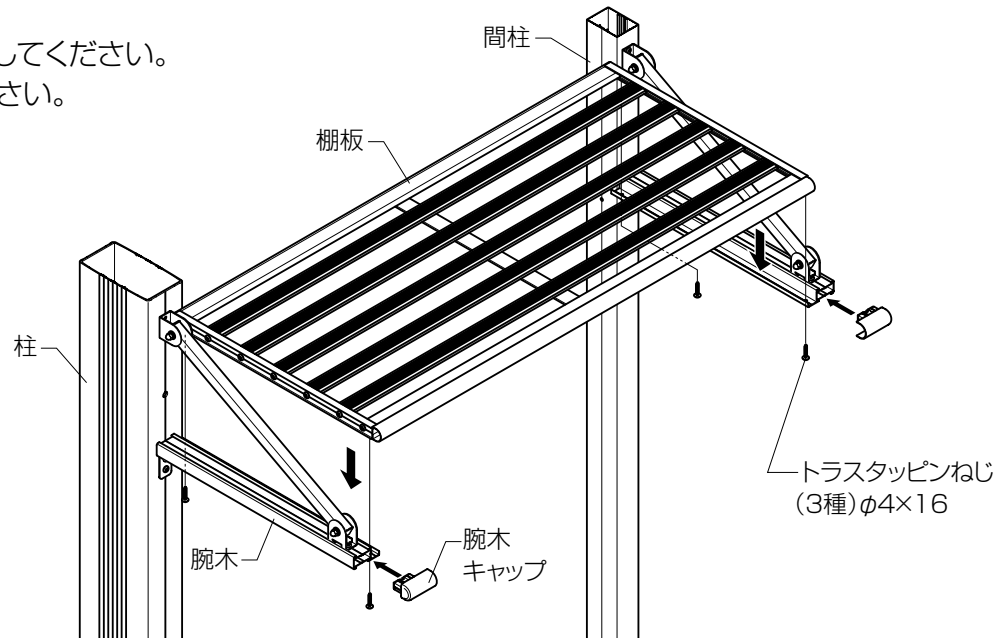


6棚板の取付け

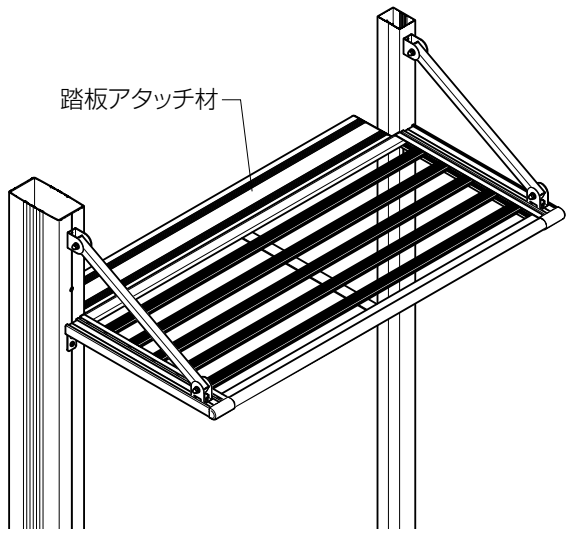


6棚板の取付け

①腕木に棚板を置き、ねじ止めしてください。
②腕木キャップを取付けてください。

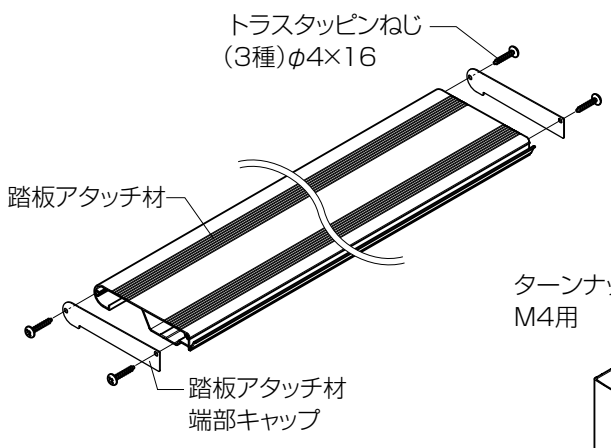


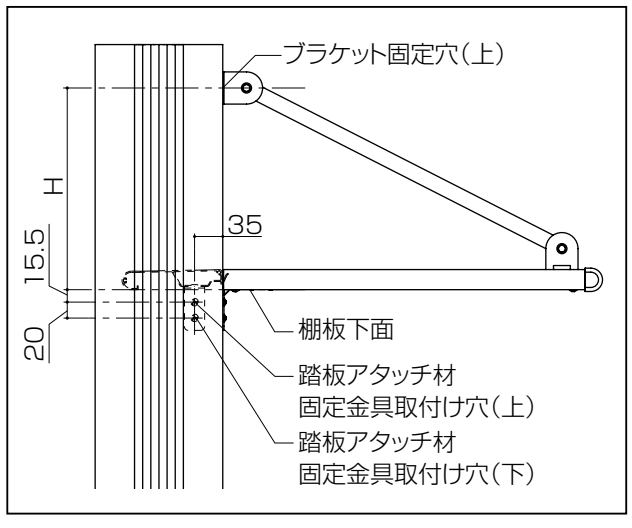
7オプション 踏板アタッチ材の取付け

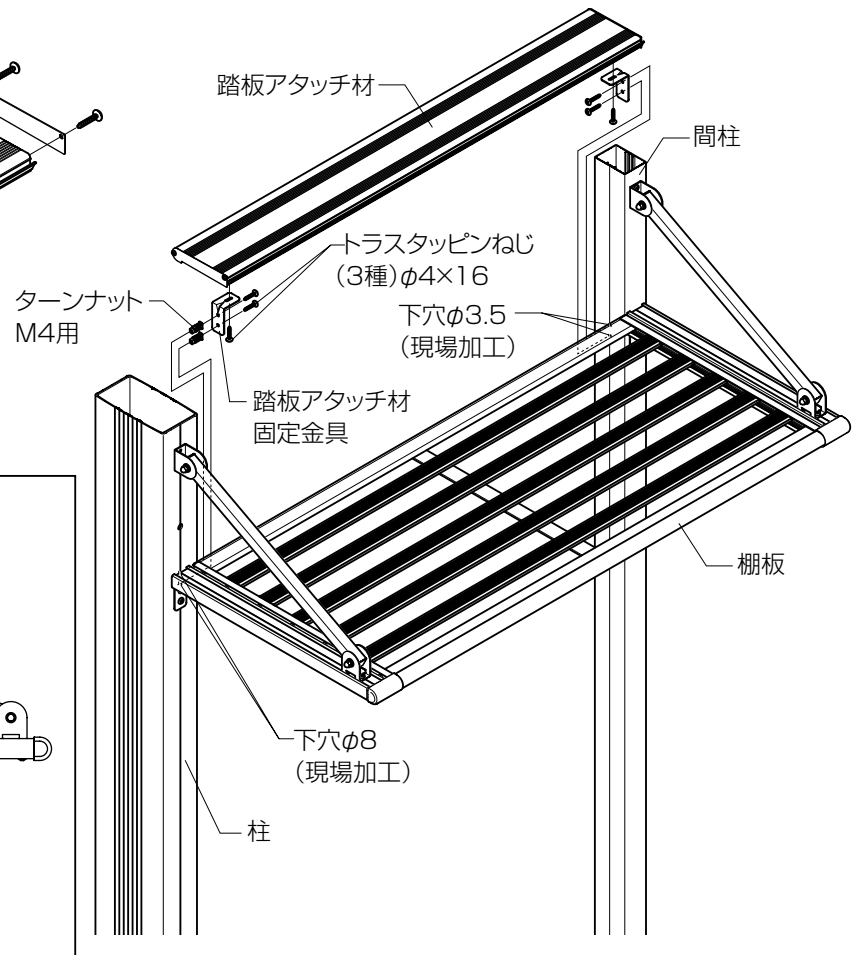


7オプション 踏板アタッチ材の取付け

①踏板アタッチ材に踏板アタッチ材端部キャップを取付けてください。
②下図を参考に、柱にφ8、間柱にφ3.5の下穴加工を施し、踏板アタッチ材固定金具をねじ止めしてください。
※柱側の踏板アタッチ材固定金具取付けの際は、ターンナットを使用してください。
③踏板アタッチ材固定金具に踏板アタッチ材をねじ止めしてください。
※その際、踏板アタッチ材固定金具の長穴が踏板アタッチ材のV溝と合うように気を付けてください。

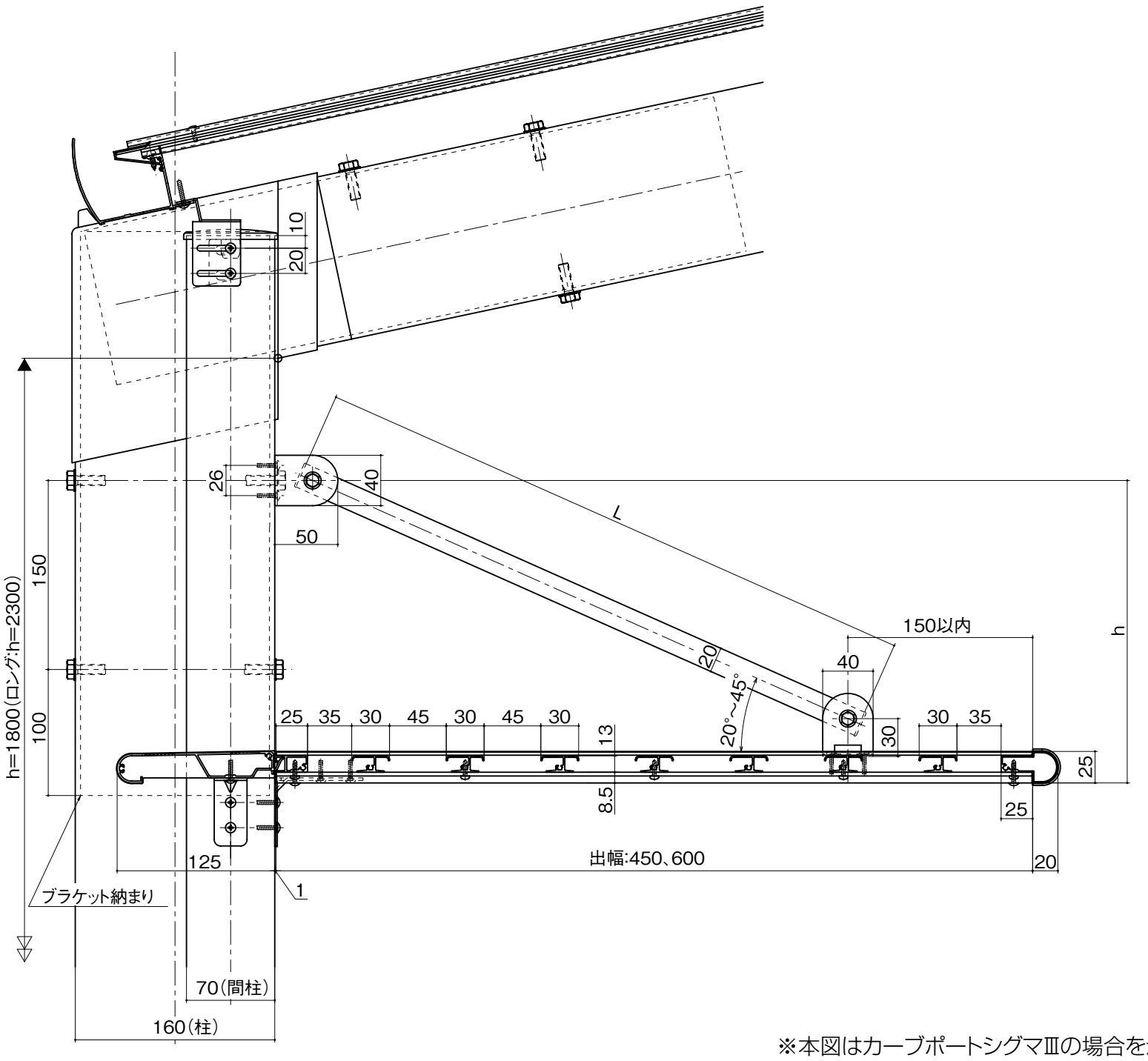






■参考納まり図

●縦断面図



※本図はカーブポートシグマⅢの場合を示します。

■梱包明細書

●棚板セット

名　称	員　数
棚板	1

●腕木セット

名　称	員　数	
	単体用	連棟用
腕木(左用)	1	–
腕木(右用)	1	–
連棟用腕木	–	1
吊材	2	1

●棚組立て部品セット

名　称	員　数	
	単体用	連棟用
吊材固定金具(上)	2	1
吊材固定金具(下)	2	1
吊材端部キャップ	4	2
腕木固定金具	2	1
腕木キャップ	2	–
連棟用腕木キャップ	–	1
六角ボルトM6×35	4	2
平ワッシャーM6用	8	4
スプリングワッシャーM6用	4	2
袋ナットM6用	4	2
トラスタッピンねじ(3種)φ4×16(D=9)	21	13
ターンナットM4用	8	4
穴ふさぎラベル	4	2
取付け説明書	1	–

●棚板アタッチ材セット

名　称	員　数
踏板アタッチ材	1
踏板アタッチ材固定金具	2
踏板アタッチ材端部キャップ	2
トラスタッピンねじ(3種)φ4×16	11
ターンナットM4用	4

●間柱セット

名　称	員　数
間柱	1
間柱端部キャップ	1
間柱固定金具(棚用)	1
間柱固定金具C(棚用)	1
スクリーン間柱スペーサー	1
アンカー棒	1
トラスタッピンねじ(3種)φ4×20	4
トラスタッピンねじ(3種)φ4×8	1

●間柱部品セット　※テールポートシグマⅢ、テールポートシグマⅢ1500の場合のみ

名　称	員　数
間柱固定金具A(棚用)	1
間柱固定金具B(棚用)	1
ナベドリルねじφ4×13	3
六角ボルトM6×12	1
袋ナットM6用	1
スプリングワッシャーM6用	1
平ワッシャーM6用	2